

令和 2 年度事業計画

パナソニックアソシエイツ滋賀 株式会社

1 基本方針

当社は、「重度障がい者多数雇用」を目的とし、働く意志と能力を持ちながら適職や職場環境に恵まれない人々に安定した職場と雇用を確保・促進するために、滋賀県と彦根市およびパナソニック株式会社の3者による第三セクター方式によって、平成6年8月に設立された。

会社は社会の公器であるという考えのもとに、全員参加による経営により、障がいのある人もない人も、一体融和して仕事を分担し、仕事の能力、スキルに応じた公明正大な運営を目指す。

具体的には、障がいのある人とない人が共に協力し合い、「個人の自立・職場の自立・仕事の自立・経営の自立」の4つの自立を標榜し、みんなの幸せと会社の繁栄の実現を目指す。

2 事業計画

(1) 製造・販売事業

ア 電子回路を中心に電器機能部品の製造ならびにこれらの販売を行う。

イ アに付帯または関連する一切の事業を行う。

(2) 障がい者雇用の推進

ア 障がい者の雇用の確保および能力の向上を図る。

(ア) パナソニックアプライアンス社モノづくり競技大会への出場と入賞

(イ) パナソニックグループ全社モノづくり競技大会への出場と入賞

(ウ) 技能検定の合格

(エ) 滋賀県障害者技能競技大会（アビリンピック滋賀）への出場と入賞

イ 就業体験実習、工場見学の受入を行う。

ウ 障がい者採用確保に向けた体制構築を行う。

(ア) パナソニックグループ内特例子会社との意見整合

(イ) 特別支援学校や就労支援機関との採用に関する連携

(ロ) 『湖東地域障がい者雇用に関する連絡会議』への参画および実習受入)

(ウ) 近隣の高校での障がい者の在籍状況ヒアリングおよび会社紹介

収 支 見 込

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 売 上 高				
親 会 社 売 上 高	3,851,635	3,717,796	133,839	
売 上 高 計 (A)	3,851,635	3,717,796	133,839	
2 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費				
材 料 費 等	3,270,739	3,152,468	118,271	
消 耗 工 具 費	28,207	29,345	1,138	
人 件 費	349,010	330,934	18,076	
償 却 費	75,839	67,652	8,187	
そ の 他 費 用	129,187	143,595	14,408	
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費 計 (B)	3,852,982	3,723,994	128,988	
3 営 業 利 益 (C)=(A)-(B)	1,347	6,198	4,851	
4 営 業 外 収 益				
受 取 利 息	270	180	90	
そ の 他 営 業 外 収 益	35,600	23,560	12,040	
営 業 外 収 益 計 (D)	35,870	23,740	12,130	
5 経 常 利 益 (E)=(C)+(D)	34,523	17,542	16,981	
6 税 引 前 当 期 純 利 益 (F)=(E)	34,523	17,542	16,981	
7 法 人 税 等 (G)	10,495	5,333	5,162	
8 当 期 純 利 益 (H)=(F)-(G)	24,028	12,209	11,819	

令和元年度事業報告

パナソニックアソシエイツ滋賀 株式会社

1 事業概要

当社は、会社は社会の公器であるという考えのもとに、全員参加による経営により、障がいのある人もない人も、一体融和して仕事を分担し、仕事の能力、スキルに応じた公明正大な運営を推進した。

令和元年度は、個人消費や設備投資などが増加したことにより、国内の景気は底堅さを維持したものの、年度末に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、車載や民生向け静電無化装置用回路と住宅設備向け回路が計画割れとなったが、シェーバーとエステ用回路が販売を伸ばし、売上高については、計画、前年度比共に上回った。一方、経常利益については、退職金制度の見直しによる人件費増により、計画は上回ったが、前年度比を下回る結果となった。

2 事業実績

(1) 製造・販売事業

電子回路を中心に電器機能部品の製造・販売を行った。

(2) 障がい者雇用の推進

ア 障がい者の雇用の確保および能力の向上に努めた。

(ア) パナソニックアプライアンス社モノづくり競技大会 3名入賞

(イ) パナソニックグループ全社モノづくり競技大会 7名出場、入賞なし

(ウ) 技能検定 1名合格

(エ) 滋賀県障害者技能競技大会（アビリンピック滋賀） 3名入賞

(オ) 新規学校卒業障がい者の入社 2名

(カ) 中途採用障がい者の入社 2名

(キ) 厚生労働省による2019年度ユースエール企業認定継続

(ク) 優秀勤労障害者 厚生労働大臣表彰 1名受賞、滋賀県知事表彰 1名受賞、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞 1名受賞

イ 就業体験実習、工場見学の受入を行った。

(ア) 就業体験実習の受入 106名・日

(イ) 工場見学の受入 290名

ウ 障害者の法定雇用率見直し(2.3%)を見据え障がい者採用増に向けた活動を行った。

(ア) パナソニック内特例子会社との障がい者雇用に関する意見交換会実施

(イ) 湖東地域障がい者雇用に関する連絡会議への参画

9月2日 ビバシティ彦根開催の障害タウンミーティングに参画した。

(ウ) 近隣の高校・大学での障がい者在籍状況等について、先生と情報交換実施

10校を計28回訪問し、新規採用に結び付けた。

損 益 計 算 書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	金 額
売 上 高	3,862,869
売 上 原 価	3,828,339
売 上 総 利 益	34,530
販売費および一般管理費	17,303
営 業 利 益	17,227
営 業 外 収 益	35,720
(その他営業外収益)	(31,115)
経 常 利 益	52,947
税 引 前 当 期 純 利 益	52,947
法 人 税 等	29,491
法 人 税 等 調 整 額	10,540
当 期 純 利 益	33,996

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

貸 借 対 照 表

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	977,562	流 動 負 債	645,128
現金および預金	6,711	買 掛 金	376,142
売 掛 金	329,222	未 払 金	146,948
仕 掛 品	41,947	未 払 費 用	81,966
原材料・貯蔵品	83,133	未 払 法 人 税	17,673
未 収 入 金	25,249	未 払 消 費 税	367
連結預け金(預金)	491,282	預 り 金	257
前 払 費 用	18	賞 与 引 当 金	21,775
固 定 資 産	511,945	固 定 負 債	30,384
有 形 固 定 資 産	504,474	退 職 給 付 引 当 金	30,384
建 物	55,678		
構 築 物	839		
機 械 装 置	445,900		
工 具 器 具 備 品	2,057	負 債 合 計	675,512
無 形 固 定 資 産	218	純 資 産 の 部	
施 設 利 用 権	218	株 主 資 本	813,995
投 資 そ の 他 資 産	7,253	資 本 金	50,000
繰 延 税 金 資 産	7,253	利 益 剰 余 金	763,995
		特 別 償 却 積 立 金	10,870
		圧 縮 記 帳 積 立 金	26,130
		繰 越 利 益 剰 余 金	726,995
		(うち当期純損益)	(33,996)
		純 資 産 合 計	813,995
資 産 合 計	1,489,507	負 債 純 資 産 合 計	1,489,507

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。